

## あとがき

大島紬製造技術の理論の確立をはかり、業界の技術指導に役立てることを目的に、昭和30年4月に製作された「染織学大要」の改訂版としてこの本を編集した。

執筆は、当所職員全員がそれぞれの担当分野を受け持ち、5名の編集委員が、寄せ集められた原稿を整理してまとめた。各章の組み立て方は、大旨製造工程の順に並べたつもりであるが、なかには最初の計画を変更して、項目の移し替えを行なったところもあり、また全体の調和をはかるために、章によっては大幅に内容を割愛した部分もある。

限られた時間と予算の制約があったこともさることながら、でき上がってみるとまだまだ不満の点が散見される。例えば、一般的な繊維、染色化学等の分野で既存の理論体系のあるものは、比較的肉付きがよいが、本書の最も必要とする大島紬独特の作業理論の部分については、作業方法を文章で説明することのむづかしさもあって、内容がやや不十分である。業界の皆様や関係者の多くの方々からきたんのない御意見を頂だし、今後の研究や日常の指導業務の実績を積み上げて、より充実したものになりたいと思う。

執筆にあたって引用した参考文献は次のとおりである。

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 化学大辞典        | 化学大辞典編集委員会（共立）     |
| 新染色加工講座      | 日本学術振興会染色加工第120委員会 |
| 染色加工剤とその応用   | 後 藤 英 一            |
| 合成界面活性剤      | 堀 口 博              |
| 繊維要論         | 岩 崎 辰 一 郎          |
| 染色薬品         | 文 部 省              |
| 衣服繊維・材料学     | 山 田 都 一            |
| 生糸の品質と織物     | 木 暮 楨 太            |
| 繊維化学         | 上 野 成 夫            |
| 織物分解設計の実際知識  | 全国繊維工業技術協会         |
| 染料便覧         | 有機合成化学協会           |
| 繊維染色加工辞典     | 日本学術振興会染色加工第120委員会 |
| 染色と生活        | 染織と生活社             |
| 染色加工関係JIS規格集 | 近 藤 一 夫            |
| 草木染色と手法      | 山 崎 青 樹            |
| 実用色染学        | 中 島 武 太 郎          |
| 新染染学         | 小 川 省 吾            |

## 本場大島紬製造ハンドブック

---

発行日 昭和58年1月25日

発行所 鹿児島県大島紬技術指導センター  
鹿児島県名瀬市久里町5番37号  
(TEL 09975 (2) 0068)

印刷所 文芸プリント社  
鹿児島県名瀬市伊津部町12番15号  
(TEL 09975 (2) 0690)

---